

様式

技術名称	プレミックス船工法	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	無
会社名等	プレミックス船工法協会	担当者	御手洗 義夫	連絡先	045-503-3741
技術の概要	<p>本工法は、専用のプラント船を用いて軟弱な浚渫土をセメントなどの固化材と攪拌混合して所定の強度と流動性を有する固化処理土を製造し、埋立材や護岸の裏込材料として使用する工法である。プレミックス船は、浚渫粘性土と固化材を混合・攪拌するミキサー、固化処理土を圧送・打設する大容量ピストンポンプ等を搭載し、固化処理土の製造から打設まで1隻で施工が可能である。</p>	添付資料	パンフの有無	有り	
			その他の資料	技術資料、積算資料	
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ■ 浚渫土(粘性土から細砂)を大量に固化処理することが可能 施工能力は300m³/hrまたは400m³/hr ■ 作業スペースが狭い場所での施工が可能 揚土から処理土の製造、打設までの一連の作業を専用船で行なうため、比較的作業スペースが狭い場所での施工が可能 ■ 処理土は流動性を有し、ポンプ圧送が可能で締固めを必要としない 作製された処理土は流動性に富みポンプ圧送による施工が可能で、締固めを必要としない。最大圧送距離は、300m(細砂)～400m(粘性土) ■ 処理土の強度や流動性は、固化材添加量や加水量の調整を行うことで任意に設定することが可能 	その他	<p>類似工法がいくつかあるが、対象浚渫土の土質、施工規模、有効利用方法などの条件によりそれぞれ適用範囲が異なる。そのあたりを中心に説明させていただきたいと思います。</p>		